

第 69 回全国健康保険協会香川支部評議会議事録概要

開催日時：令和 3 年 10 月 29 日（金）10：00～12：00

開催場所：リーガホテルゼスト高松 翡翠

評議員：、坂本評議員、繁村評議員、白井評議員（副議長）、

長山評議員（議長）、西尾評議員、丹生評議員、野崎評議員、森永評議員

（五十音順）

議事

○報告事項

1. 2021（令和 3）年度支部事業報告（上半期）について

○協議事項

1. インセンティブ制度に係る 2020（令和 2）年度実績の評価方法について
2. インセンティブ制度の具体的な見直しについて
3. 2022（令和 4）年度保険料率について
4. 2022（令和 4）年度支部保険者機能強化予算について

○協会けんぽ香川支部の概要

報告事項 1. 2021（令和 3）年度支部事業報告（上半期）について

【事務局より資料 1 に基づき説明】

（評議員の質問・ご意見）

【学識経験者】

ジェネリック医薬品の供給不足について、具体的原因はなにか。

【事務局】

新聞報道等によると、海外からの原材料の輸入が若干止まっている。製造工場の監査においても内規や法令に違反していることが判明し、操業停止に陥っていることも原因の一つとされている。

協議事項 1. インセンティブ制度に係る 2020（令和 2）年度実績の評価方法について

【事務局より資料 2 に基づき説明】

（評議員の質問・ご意見）

【議長】

実績値は補正しない、インセンティブ保険料率は 0.007%に据え置きすることによいか。

(異議なし)

協議事項 2. インセンティブ制度の具体的な見直しについて

【事務局より資料 3-1、3-2 に基づき説明】

(評議員の質問・ご意見)

○論点 1

【学識経験者】

健診関連の指標について、配点を上げること、実施結果よりも伸び率を重視することについて賛成である。

【学識経験者】

伸び率を重視するほうが本来のインセンティブの目的に合致する。

【被保険者代表】

ウェイトについては実績重視でよい。

○論点 2

【学識経験者】

ジェネリック医薬品使用促進は健康増進とは関係ないが、医療費に寄与することは間違いないので、指標として残しておいてよいのではないかと。

【被保険者代表】

ジェネリック医薬品使用促進については除外しなくてよい。

○論点 3

【学識経験者】

減算対象支部の増減案について、メリハリを利かせる減少案とすべきという支部があるのも理解できるが、まだまだ本格運用期ではなく移行期である。被保険者に帰県意識が強いわけではないため、この制度を周知・喚起していく意味において、減算対象支部を増やしていく案を選択するのがよい。メリハリを利かせるのはその次ではないかと。

【被保険者代表】

減算対象支部の拡大の是非については、支部の事業実績を重視し、対象支部を拡大して保険料率を引き上げる案がよい。

協議事項 3. 2022 (令和 4) 年度保険料率について

【事務局より資料 4-1、4-2 に基づき説明】

(評議員の質問・ご意見)

【議長】

平均保険料率を10%維持し、少しでも準備金を長く保有するということがよいか。

(異議なし)

協議事項 4. 2022 (令和 4) 年度支部保険者機能強化予算について

【事務局より資料 5 に基づき説明】

(評議員の質問・ご意見)

【学識経験者】

「香川支部の特性や課題を可視化した広報の実施」について、あわせて事業主・加入者へのアンケート調査を実施するとあるが、何に関する課題等を聞こうとしているのか。

【事務局】

健診結果データをもとに「事業所カルテ」を作成しており、各事業所でどのような課題があるかを検討いただき、それをお聞かせいただき支部としてもお手伝いしていきたい。また、健康宣言事業を通じて、最終的には健康経営優良法人を目指していただきたいと考えている。

【学識経験者】

香川支部の代謝リスクが全国に比べ非常に高いのはなぜか。

【事務局】

健診受診時の問診票データの集計結果から、運動不足が主な原因であると考えている。代謝リスクは放置すると糖尿病に罹患する可能性が高まるため、重点的に対策を講じた。

協会けんぽ香川支部の概要

【事務局より資料 6 に基づき説明】

(質問・ご意見なし)

以上

令和 3 年 10 月 29 日